



シリーズ 子どもたちの発達

『子どもにとって遊びとは？』

『子どもは遊びを通して発達していく』ということはよく言われています。私たちも日々の保育の中でそのことを感じ、実践しています。例えば積木を積んでいくという行為の中に、子ども自身が「もっと高く！」という課題を自分から持つことでそれを実現させるために目と手と全身を傾け、自分よりも高くなった時には「これ以上積むにはどうしよう?!」と方法を考え、失敗を元に「次はこうしてみよう！」と自己の欲求の実現の為に純粋に力を注ぎます。そうやって日々、ひとつひとつの行為により精神的にも身体的にも自分を育てていっていることその姿にその子の発達をみることができます。そして、そのような行為は『遊び』と一言で区切ることが出来ない生活すべての中にあるのだと思います。そういった様々な行為を通して子どもは自分の体の機能、思考や情緒、表現、生活習慣、社会のマナーやルール、コミュニケーションの方法などを経験し、知り、そして習得していくものと言えるでしょう。今回はこのような子どもにとっての行為——『遊び』について皆さんと考えていきたいと思ひます。

そもそも子どもにとって遊びとは何でしょう？大人にとってもそうであるように、自由で主体的にする自発的な行為と言えます。ただ大人と違って、「友達と会って～したい」「車に乗って何処かに行きたい」などという明確な目的や予想される楽しみがまず先にあって、そのことを達成する為に努力し実現させることは能力的には無理があります。環境の中に刺激があつて(それは意図的であつたり偶発的であつたりしますが)、はじめて「これを使いたい」「この道具を使って何かしたい」「この大人・友達と遊びたい、関わりたい」などの内的欲求や興味、知的好奇心がわきおこるのです。その刺激はおもちゃなどの道具であつたり、空間(狭いところ・高いところなど)であつたり、自分の身近な人であつたりと様々です。

刺激により欲求がわきおこり、そして行為を通して経験し学習していく……子どもにとってそのすべてが遊びであり、大人との違いは学習していくことが大きいということだと思ひます。

では子どもは行為を通して実際に何を経験し、学んでいるのでしょうか？

まず一つ言える事は“自分”を知ることだと思います。行為を通して様々な感情——嬉しい、楽しい、悲しい、怒りなど——を体験し、その先には積極性や自身、達成感や貢献感を育てていきます。時には嫉妬や劣等感などのマイナス感情を抱えることもあるでしょう。そういった人間として柱になる部分である人格を育てていきます。

また身体を動かすことで自分を形成する身体について知り、自分の身体をコントロールしようとする力や手先の器用さ、バランス感覚を得ていきます。身体すべてを使って遊ぶ乳児期には特にそのことが目覚しく発達していきます。

「発達」と言いましたが、人間ひとりひとりの発達は独自のあくまでも主体はその人自身であり、自分を形成していくその過程に過ぎません。ひとりひとは違う人間であり「個」であるのだと思います。なので他者と比べず、その個自身としてありのまま受け止めることが大切だと考えます。

自分を知る——内的にも身体的にも——ことは自分を育てますが、切り離すことが出来ないのが他者とのかかわりだと思います。それは社会性にもつながることです。大人との関係や友達とのやりとりを通して、時には葛藤することもあるでしょうが自他の感情・要求を理解・合意したり、交渉しようとしたりまた思いやりなどのコミュニケーションを学んでいきます。その時自分の中にわきおこる感情のもとにやりとりし、伝え合い、お互いにとってより良くなれるように意思の疎通を図ることもまた遊びの中で行われます。道具を取った・取られたもそうですし、相手に自分の要求を伝えようとするのもそうです。また遊びの中で提案することもあるでしょう。自分以外の人とのコミュニケーションの方法をそういった行為の中から学んでいるのです。時には他者からふるまいや(こういう時はこうふるまえばいいんだな、など)表現の方法も学ぶでしょう。個人から社会へとそうやってひらかれていくのだと思います。

生活全体のひとつひとつの行為を通して時にはそれが楽しいことや苦い経験などと結びつき自分を育てていく、それが子どもにとっての遊びであるでしょう。そうしてこれらのことを学び、成長していくのであれば、大人としてより良い刺激を用意していく・援助していくことが役割であると考えます。

『アヴェロンの野生児』という話をご存知でしょうか？オオカミに育てられた子どもの話なのですが、子どもが様々なことを知り、獲得する乳幼児期にオオカミに育てられた為に言語の発達、二足歩行などを含めた人間らしい生活習慣を習得することが出来ないままその生涯を終えたそうです。人間らしさ…文化的・社会的生活をどのように身につけていくか?!ということにおいても環境は大切であり、子どもが遊びを通して発達していくことはとても大切なことと言えるのではないのでしょうか。

子どもが自分で育とうとする力を助けていく、行為への刺激の具体的なものの一つとして『道具』が上げられると思います。次回はその『道具』について一緒に考えたいと思います。

柏市駅前認証保育園 Kid's Encourage
園長 日下部樹江

